



家庭数配布

一学校で、家庭で、地域で学んだことをそれぞれで生かす一

# 富士見台

令和5年度 学校評価号

学校だより 557号

練馬区立富士見台小学校

校長 関口 一也



<https://www.nerima-ky.ed.jp/fujimidai-e/>

## 令和5年度 学校評価

校長 関口 一也

学校評価にご協力いただきましてありがとうございました。学校評価の結果をまとめましたので、お知らせいたします。

### 調査の概要

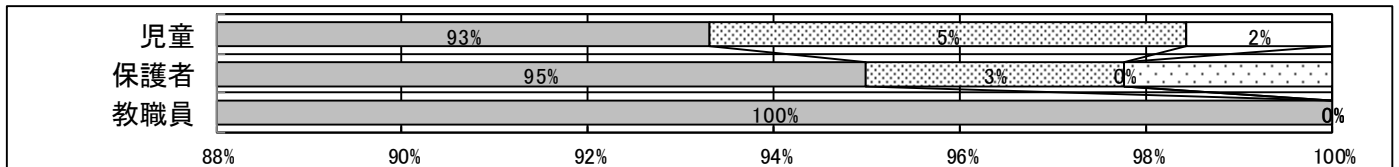
- 1 調査実施期間 令和5年12月4日～ 12月15日
- 2 対象・回収数 児童 568名・保護者179名 教職員20名
- 3 回答方法 保護者・教職員  
【4そう思う】【3だいたい思う】【2あまり思わない】【1思わない】【0分からない】の5段階評定  
児童  
【4そう思う】【3だいたい思う】【2あまり思わない】【1思わない】の4段階評定法
- 4 処理方法 ○設問(児童11、保護者・教職員9)の回答を集計し、全体における割合をグラフに表した。  
○自由記述について集約した結果を表した。

## 1 質問についての結果

(1)結果 グラフの内訳は左から【4】【3】【2】【1】【0】割合を示しています。【4】【3】の標語(上記「3 回答方法」参照)を肯定的評価と捉え、肯定的評価の数値は【4】【3】を合わせた割合(%)の数値の合計を指します。

### ①【児童】授業の学習内容が分かる。

【保護者・教職員】学校は、分かりやすい授業、楽しい授業に努めている。



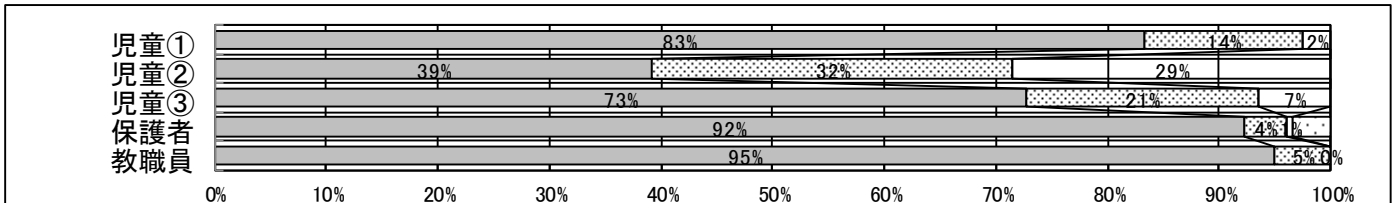
肯定的評価:児童93%、保護者95%、教職員100%

### ②【児】①自分からすすんで学習することができる。(宿題への取組、学びのステーションの利用、授業中の取組など)

【児】②すすんで学びのステーションに取り組んでいる。

【児】③読書旬間では、すすんで本を読んでいる。

【保・教】学校は、学力定着を図るための取組(算数少数指導、読書活動、学びのステーション等)を行い、学習意欲や学力の向上に努めている。

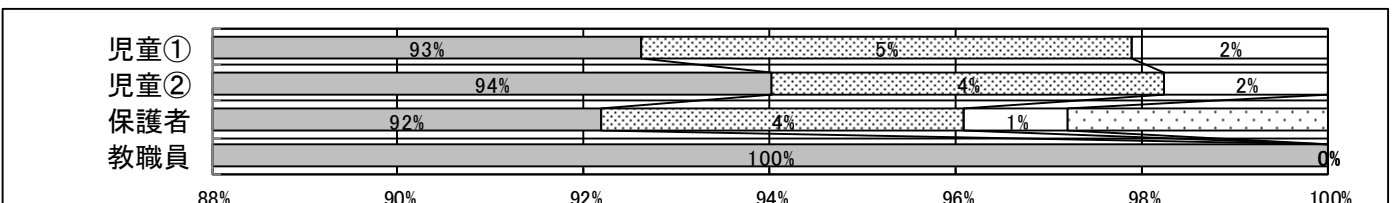


肯定的評価:児童①83%、児童②39%※、児童③73%、保護者92%、教職員95%

### ③【児】①1学期に比べて、挨拶ができるようになった。

【児】②1学期に比べて、学校の決まりを守ることができるようになった。

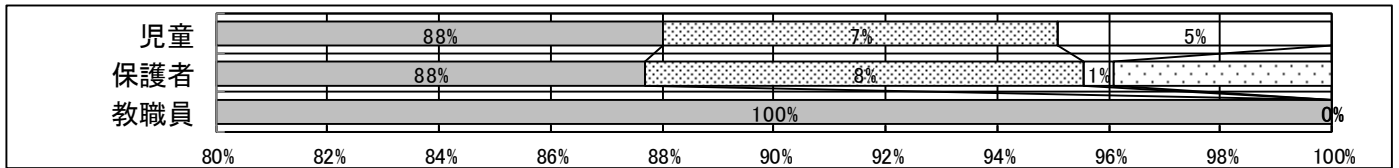
【保・教】学校は、挨拶や学校のきまりを守ることなど、集団生活を送る上で、基本的な生活習慣が身に付くよう指導している。



肯定的評価:児童①93%、児童②94%、保護者92%、教職員100%

④【児】学校で困ったことがあったとき、相談できる先生がいることを知っている。

【保・教】学校は、子供についての連絡、相談に適切に対応している。

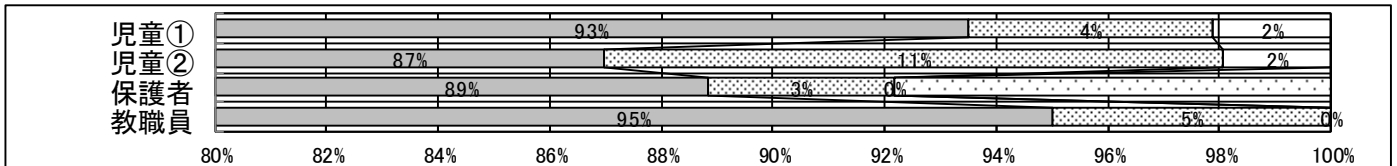


肯定的評価:児童①88%、保護者 88%、教職員100%

⑤【児】①にこここペアタイムで、他の学年の友達と仲良くなれた。

【児】②体育の時間や休み時間に、すすんで体を動かしている。

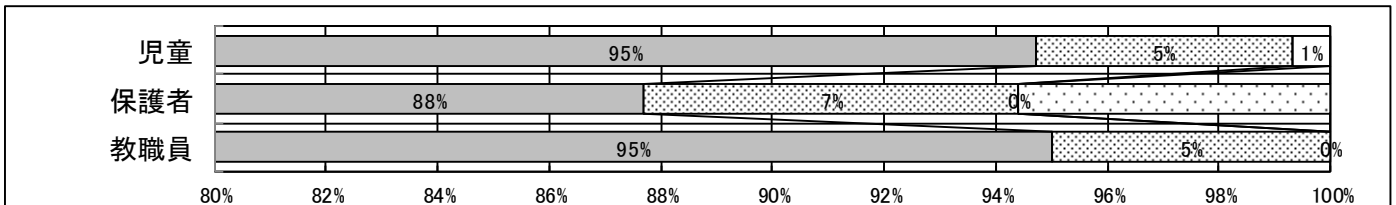
【保・教】学校は、きょうだい学年交流の実施を通して、児童の豊かな関係づくりに努めている。



肯定的評価:児童①93%、児童②87%、保護者 89%、教職員 95%

⑥【児】掃除の時間は、任された仕事を最後まで行っている。

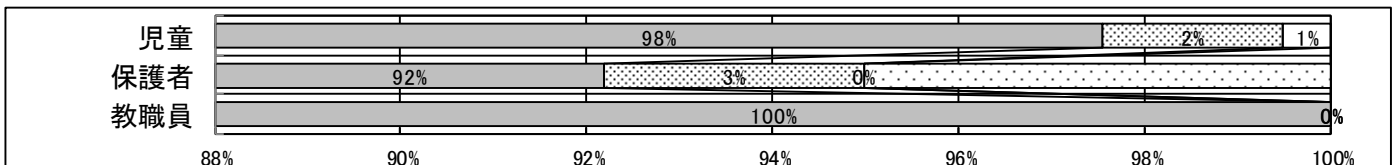
【保・教】学校は、校舎内の清掃、整理整頓に努めている。



肯定的評価:児童①95%、保護者 88%、教職員 95%

⑦【児】避難訓練に真剣に参加している。

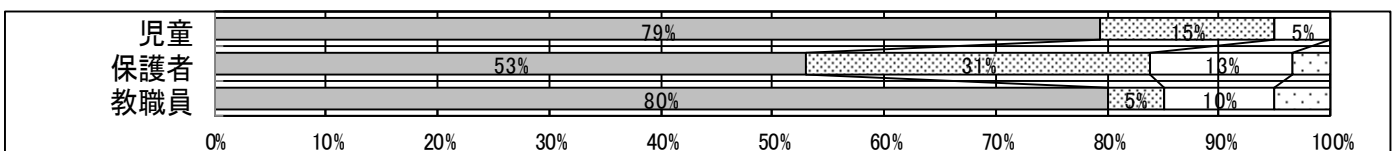
【保・教】学校は緊急時に備えて安全指導(避難訓練、毎月の安全指導)、校舎内外の安全管理に努めている。



肯定的評価:児童 98%、保護者 92%、教職員100%

⑧【児】すすんでタブレットを使っている。(学習、係活動、委員会など)

【保・教】学校で学習したことを使って、家庭でもタブレットを活用している。



肯定的評価:児童 79%、保護者 53%※、教職員 80%

⑨【保・教】学校は、学校便り、学年便り、ホームページ、保健便り、給食便りなどで、学校の活動や取組を伝えている。



肯定的評価:保護者 97%、教職員100%

## 2 今回の学校評価について

### (1) 肯定的評価が高い項目 ○の中の数字は問題番号

位	児童	保護者
1	⑧避難訓練に真剣に参加している。(98%)	⑨学校は、学校だより、学年だより、ホームページ、保健だより、給食だよりなどで、学校の活動や取組を伝えている。(97%)
2	⑦掃除当番のときは、任された仕事を最後までしている。(95%)	①学校は、分かりやすい授業、楽しい授業に努めている。(95%)
3	⑤学校のきまりを守ろうとしている。(94%)	②学校は、学力定着を図るための取組(算数少人数指導、読書活動、学びのステーション等)を行い、学習意欲や学力の向上に努めている。 ③学校は、挨拶や学校のきまりを守ることなど、集団生活を送る上で、基本的な生活習慣が身に付くよう指導している。 ⑦学校は緊急時に備えて安全指導(避難訓練、毎月の安全指導)、校舎内外の安全管理に努めている。 <b>(3項目全て 92%)</b>

○児童の肯定的評価が高い項目では、避難訓練、当番活動、規則の遵守です。日々の自身の役割を果たそうとしたり、自分の命を守るための訓練や対応を粛々と取り組んだりしており、取組意識、規範意識の高さがうかがえます。上位3項目は令和4年度と同様であり、富士見台小学校の児童がしっかりと受け継いできたものであります。

○保護者の方からは、学校が行っている情報発信について、今年度もたいへん高い評価をいただきました。また、教育活動の中心である授業についても高評価をいただいております。分かりやすい、楽しい授業に努め、今後も児童の学力向上に努めてまいります。

### (2) 肯定的評価が低い項目

位	児童	保護者
1	②-2 すすんで学びのステーションに取り組んでいる。(39%※)	⑧学校で学習したことを使って、家庭でもタブレットを活用している。(53%※)
2	②-3 読書旬間では、すすんで本を読んでいる。(73%)	④学校は、子供についての連絡、相談に適切に対応している。(88%)
3	⑧すすんでタブレットを使っている。(79%)	⑥学校は、校舎内の清掃、整理整頓に努めている。(88%)

○児童の肯定的評価が低い項目は、「自主的な学習活動や読書活動」についてです。自分が興味をもったことに対して、自ら学びを深めていく体験が子供たちにとって幾分、少ないことが分かります。日が経つにつれ、学びのステーションに対する興味関心も少しずつ薄まっていることもうかがえます。児童同士で声をかけ合う、プリントを教室に持ち帰って取り組む等、今後も児童が「自ら」活動する習慣をさらに身につける必要があります。

○保護者の肯定的評価が一番低い項目は、タブレットの利活用でした。学校全体として、タブレットの使用頻度は増えてきているのですが、タブレットを使用したことによるトラブルも起きており、今後も注意が必要です。ルールを確認しながら、タブレットを使用して、宿題で作成したスライドを学校の授業で発表する、学校で学習したことを保護者の方にプレゼンテーションする等の活動を今後もさらに取り入れ、タブレットの活用を促進してまいります。

## 3 文章でのご評価

Formの「3 富士見台小のよいところ」(○)、「4 自由記述」(◇)でご回答いただいたものをいくつかピックアップさせていただきました。

### 【学校の取組】

○兄弟学年等、子供たちの交流の機会が多いこと。6年間を通して百人一首に触れることも子供たちにとって国語、文化の学びとして良いことだと思います。

◇算数少人数のように、国語でも文字の書き方や文章の書き方などが苦手な子をフォローアップしていただける何かあるとまた良いなと思いました。

◇担任の先生と保護者との個人面談の機会を、年に1回から増やしていただくか、回数はそのままで年度の前半に設けていただけるとありがたく思います。現状の12月に一度ですと、1学期と2学期の大部分が過ぎてしまった時期ですし、面談のお時間も「あゆみ」の所見欄のお話でほぼ終わってしまいます。区内では各学期に面談の機会がある小学校もあるそうですが、先生のお考えを直接伺い、子供の長所や課題について先生と共有しながら1年間学校に預けられることの安心感は大いだと思います。

大変ご多忙とは存じますが、ご検討いただけますと幸いです。

- ◇読書旬間や家庭学習チャレンジ、生活チェックシートなど…、学校側として取り組んでいますというだけで、子どもたちの継続的な学びには繋がっていないと感じる。それよりも、日々の子どもたちの状況の把握に重点を置くほうが意味のあるものになるのでは無いか。
- ◇学校公開が毎月1回は多いと思う。学期中に一回程度でいいのではないのでしょうか。
  - 兄弟学年、地区班登校など他学年との交流活動が多く、子供たちのより豊かな成長につながっています。今後も全体での交流活動を進めながらも、個々への対応も丁寧に行ってまいります。令和6年度は個人面談の回数を増やす予定です。
  - 今後も年間4回(6,10,11,2月)アンケートを行い、子供の実態把握に努めます。望ましい生活習慣、学習習慣の定着に向け、読書旬間、家庭学習チャレンジ等の取組が継続していけるようします。
  - 学校公開の回数については、来年度の区の方針が示され、今年度よりも回数が減ります。また、通知表の所見も年間1回になる予定です。

## 【学校生活】

- 発達に問題がある子供にも担任の先生がきちんと関わってくれるので安心しました。1年生～4年生までの先生の中でほとんどの先生が理解してくださり、勉強面、友達関係でも不登校問題でも対応してくださるので本当に助かります。また、たんぼぼの先生の対応にいつも助けられています。感謝しかありません。
- 何かあった時には、話を聞いてくれたり、力になってくれたりするような安心感のある先生が沢山いらっしゃいます。きっと子ども達もそう感じていると思います。
- 百人一首への取組など、独自性があるところ。先生方が細かいこともきちんとご報告してくださるところ。何か問題が発生した際に、担任の先生だけではなく、学校全体へ周知してくださるところ。
- ◇2年生のときの先生は、発達障害のことを本当に理解してもらえなく、1年間悩み続けました。先生の知識の大きい差があると思います。年配の先生ほど理解が薄いように感じます。今、発達障害は国でも議論されています。知識の共有があると良いのかもかもしれません。
- ◇校内でこちらから挨拶をしないとしない先生がいる。挨拶をしてもらいたいわけでは全く無いが、子どもはそういった姿を見ているといった意識が薄いのでは無いでしょうか。
- ◇学校での学力向上には限界があると思うので、学校でしか学べないことをもっと向上してほしいです。(人間関係、コミュニケーションなど)
  - 子供たちが楽しく学校生活を送るためにも、子供たち一人一人の特性に合った指導が重要です。児童理解がさらに深まるよう、教師が児童の手本となるよう、今後も研鑽を積んでまいります。
  - 学校でしか学べないことの一つに集団生活があります。子供は、人と人の関わり方や、上手な気持ちの伝え方などのソーシャルスキルなどを体験することによって学んでいる部分が多いです。学校では授業を通して、どのようにすればお互い気持ちよく過ごせるかなど考えたり、話し合ったりして、学校だからこそできることをさらに進めてまいります。

## 【決まり】

- ◇忘れものをした際に保護者付き添いではなく、本人だけで取りに行けるようにして欲しい。また、子供の件でなにか保護者に連絡したいことがあっても連絡網がないので非常に困る。連絡網を作ってほしい。同じ、練馬区内の小学校では連絡網があるのになぜ当小学校はないのかわからない。
- ◇休み時間の過ごし方は児童個人に任せてほしいです。外遊び、室内遊び、図書室、好きな場所でリフレッシュや休憩をさせてほしいです。
  - 基本的に下校後、忘れ物を取りに来てはいけなくなっております。児童の居場所を把握するため、遅刻や早退についても保護者の方の送り迎えをお願いしております。また、個人情報保護の観点から、今後も連絡先を知らないご家庭には、学校を通して連絡することとなります。
  - 学校では外遊びを推奨しています。寒さに負けない体づくりなどその意義を改めて発信し、集団生活の中での望ましい生活習慣について、今後も指導してまいります。

## 【ICT】

- タブレットで、スライドを家で子供が作っている姿を見てすごいなって思いました。たくさんタブレットを使いこなして、いまならでの教育をして欲しいです。
- ◇タブレット学習によって視力が悪くなるというデータもあるので、毎日使用したり、作業が長くなったりするような使い方は見直ししてほしい。また家でのタブレット使用についても学校でルールを児童に徹底してほしい。

◇タブレット端末をもっと活用して、よりペーパーレスを進めてほしい。通塾しているので帰宅後 classroom が見られない事が多い、親が許可したら時間が過ぎても確認できるようにしてほしい。

→本校は区の方針に沿ってタブレット学習を進めています。現在、学習を進めながらも「決まりの重要性」を感じています。学校では、日頃の学習ルールに加えて、タブレットを使用する際の決まりを指導しながら学習を進めています。自分のパスワードを教えない、友達のスライドを無断で更新しない、メッセージをもらった人の気持ちを考えるなど決まりがあることによって、問題を未然に防ぐことができました。一方、決まりの設定が遅れて児童の活動に支障をきたすこともありました。既存の決まりと新しい決まりを相互に合わせることによって、タブレットを生かしながら児童がさらに主体的に学んでいくことをサポートしてまいります。ご家庭でも「SNS 家庭ルール」を参考に今一度話し合っただけだと助かります。

→タブレットをはじめとした ICT 機器、アプリを活用し、学びをより深いものにしていきます。今年度は、児童がタブレットを使用して学習を進めるために、故障への対応や忘れてしまったときのタブレット貸し出しなど、環境整備を特に進めてまいりました。来年度は、練馬区が導入した sigfy などのアプリを導入し、欠席連絡のスムーズ化、学校から発信する便りの精選、ペーパーレス化をさらに進めてまいります。

#### 【学校評議員会：令和6年1月25日(木)午前9時50分～午前11時15分実施】

評議員の皆様から「学校評価から保護者の思いや教職員方の指導が着実に子供たちに伝わっていることが分かる。」というお声をいただきました。以下に話し合われた内容を記します。

##### (交流)

- ・交流の場が増えてきて、とてもよい。学力に個人差があるのは当たり前。みんなでみんなを育てていく。
- ・兄弟学年の取組が良い。一人っ子が増えている実情に対応する取組だ。
- ・交流学习で児童は豊かな人間関係を育んでいる。

##### (挨拶)

- ・子供たちは挨拶をよくしてくれる。地区班の集合場所で挨拶をするとよいのでは。
- ・子供が挨拶をしにくい状況にあるかもしれない。会釈をするだけでも違う。
- ・挨拶は心と心をつなぐ。挨拶で治安がよくなることも。犯罪をしようとした人が声をかけられて思いとどまることもあったようだ。

##### (タブレット)

- ・タブレットにはみんなが楽しく取り組んでいる。ゲーム感覚で取り組んでいるようだ。これからも楽しく分かりやすく指導していってほしい。
- ・SNS でトラブルが発生する。中学校では学年を追うごとにトラブルが減っている。SNS 上でも日常生活でもマナーは、大人であっても生涯学んでいくことが必要。
- ・学校で学習した成果を、家でタブレットを使用して見せるような取組をするとよい。
- ・タブレット学習が浸透しつつあるが、密室状況が作り出されてしまう。対面の良さも重視していきたい。

##### (その他)

- ・子供たちは様々な活動に楽しく参加している。
- ・小学校の段階で心情をしっかり育て、情緒豊かに育ってほしい。
- ・富士見台小学校は百人一首が伝統になっている。どの学校にも伝統があり、それを継承しているのがよい。伝統を小中で連携していくのもよいのではないかと。
- ・もしものときに備えるためにも避難訓練がとても大事である。富士見台小学校児童は、避難訓練に取り組む意識、姿勢が素晴らしいと思う。
- ・①の「学習内容が分かる。」について、学習への児童の評価が高いことはとてもよい。
- ・②の自分からすすんで学習するという自主性についての評価が若干低いのは、小学校段階では致し方ないかと。

令和5年度も学校の教育活動にご協力いただきありがとうございました。

今年度は、制限が緩和され、通常通りの活動が少しずつできるようになりました。昨年度よりも多く、交流活動を行うことができるようになったり、50周年記念集会をはじめとした集会活動も学校全体で行ったりすることができるようになりました。元通りという訳ではありませんが、様々な活動が制限なく行われることに、子供たちはとても喜んでいるようでした。

近年、児童一人一人にタブレットが配備され、ICT を活用した授業が展開されるようになりました。タブレットの活用には多くの可能性が秘められており、上記の内容に加えて、今後もタブレット学習をさらに発展させていけるよう努めてまいります。

学校評価にご協力いただき、まことにありがとうございました。

今年度残りわずかとなりますが、引き続き学校の教育活動にご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。